

平成28年4月

大学スポーツの振興に関する検討会議（座長：文部科学大臣）スタート

平成28年6月 日本再興戦略2016  
：平成28年度中に設置に向けた方向性について結論を得る

8月

中間とりまとめ（日本版NCAAについてはタスクフォースで検討）

平成29年3月

最終とりまとめ（平成30年度中の創設を目指す）

平成29年6月 未来投資戦略2017  
：平成30年度中の創設を目指す

平成29年9月28日

日本版NCAA創設に向けた学産官連携協議会 発足  
（日本版NCAAの制度設計、機運醸成へ）

平成30年度中 日本版NCAA創設（目標）

# 大学スポーツの振興に関する検討会議タスクフォース とりまとめ概要

～日本版NCAAの創設に向けて～

## 現状・課題

- 社会的諸課題への解決を求められる大学において、**人格の形成や地域コミュニティの形成等に寄与する大学における運動部活動等のスポーツに期待される役割は大きい**。また、「観る」スポーツとしての可能性も高い。
- 運動部活動は、**学生を中心とする自主的・自律的な課外活動**とされ、大学の広報等に寄与する一方、**大学の関与は限定的**な場合が多い。
- 大学の競技団体(学連)は、**競技・地域ごとの組織で、法人格を有しない**組織も存在。

⇒ 学生アスリートの学業環境への支援、運動部局の運営(指導者や資金の確保、責任体制、事故・事件時の対応)、大学の教育・研究との連携、学連間の連携等の課題が山積し、抜本的な改革が求められている。

**大学スポーツ全体を総括し、その発展を戦略的に推進する組織が必要**

## 日本版NCAAの在り方

スポーツを通じた**学生の人格形成**を図るとともに、母校や地域の一体感を醸成し、**地域・経済の活性化や人材の輩出に貢献する**

### 理念

- **学生アスリートの学業環境の充実**を図るとともに、**学業とスポーツの両立**を目指し、大学スポーツの発展を実現する
- **事故防止など運動部活動の安全性を向上**させ、本人や関係者にとって安心できるものとする
- 我が国のスポーツの文化、歴史を尊重しつつ、**大学、学連等が協調・連携するためのプラットフォーム**としての役割を担う
- 「観る」スポーツとしての価値を高め、**収益を大学スポーツに還元する好循環を創造**し、我が国全体の雇用の創出、経済成長につなげる
- 競技種目、大学の立地、性別、障害の有無などにより不利益を被ることがないように取り組む

### 【期待される役割】

- ①学生アスリートの育成  
(学業成績要件の統一、デュアルキャリア支援、インテグリティ教育等)
- ②学生スポーツ環境の充実  
(スポーツ活動への支援、保険制度の充実、不祥事・勧誘等に係るルール作り等)
- ③地域・社会・企業との連携  
(地域貢献活動の総括、会計等のガイドライン整備・相談窓口、権利関係の調整等)

### 【組織体制】

- **民間の法人**として設立し、**民間資金による運営**を基本とする。
- **原則大学、学連の自主参加(任意)**とする。
- 大学、学連が加盟のメリットを実感できるものとする。
- 大学、学連等の従来の活動を阻害せず、調和のとれたものとする。
- 安定した収入源を得るため、様々な手法の開拓を図る。
- 当初は実行可能な分野、規模からスタートする。

★最終とりまとめ全体については、下記よりご覧いただけます。

[http://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/shingi/005\\_index/toushin/\\_icsFiles/afieldfile/2017/03/10/1383246\\_1\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/005_index/toushin/_icsFiles/afieldfile/2017/03/10/1383246_1_1.pdf)

## 日本版NCAA創設に向けた学産官連携協議会

- 大学、学生競技連盟、産業界等が連携して具体的制度設計を進め、平成30年度中の本版NCAAの創設を目指す。
- 個別の検討テーマについては、3つのワーキンググループを開催して議論を進める。

### (1) 学業充実ワーキンググループ

#### 【検討テーマ】

- ・学生アスリートへのスポーツと学業の両立の必要について
- ・学業とスポーツの両立のための仕組み作りについて
- ・キャリア形成支援について 等

### (2) 安全安心ワーキンググループ

#### 【検討テーマ】

- ・安全性の向上に向けた関係者それぞれの役割とガバナンスの整理
- ・安全性に関する最低限の担保
- ・安全安心プログラムの開発、提供、講習
- ・安心してスポーツに取り組むための指導者の育成や管理
- ・医療との連携の在り方 等

### (3) マネジメントワーキンググループ

#### 【検討テーマ】

- ・日本版NCAAが担うべき役割について
- ・日本版NCAAが提供するメリットの検討
- ・加盟要件の整理
- ・自立的組織とするための資金調達方法
- ・運営に必要な人員、組織 等

### 第1回協議会

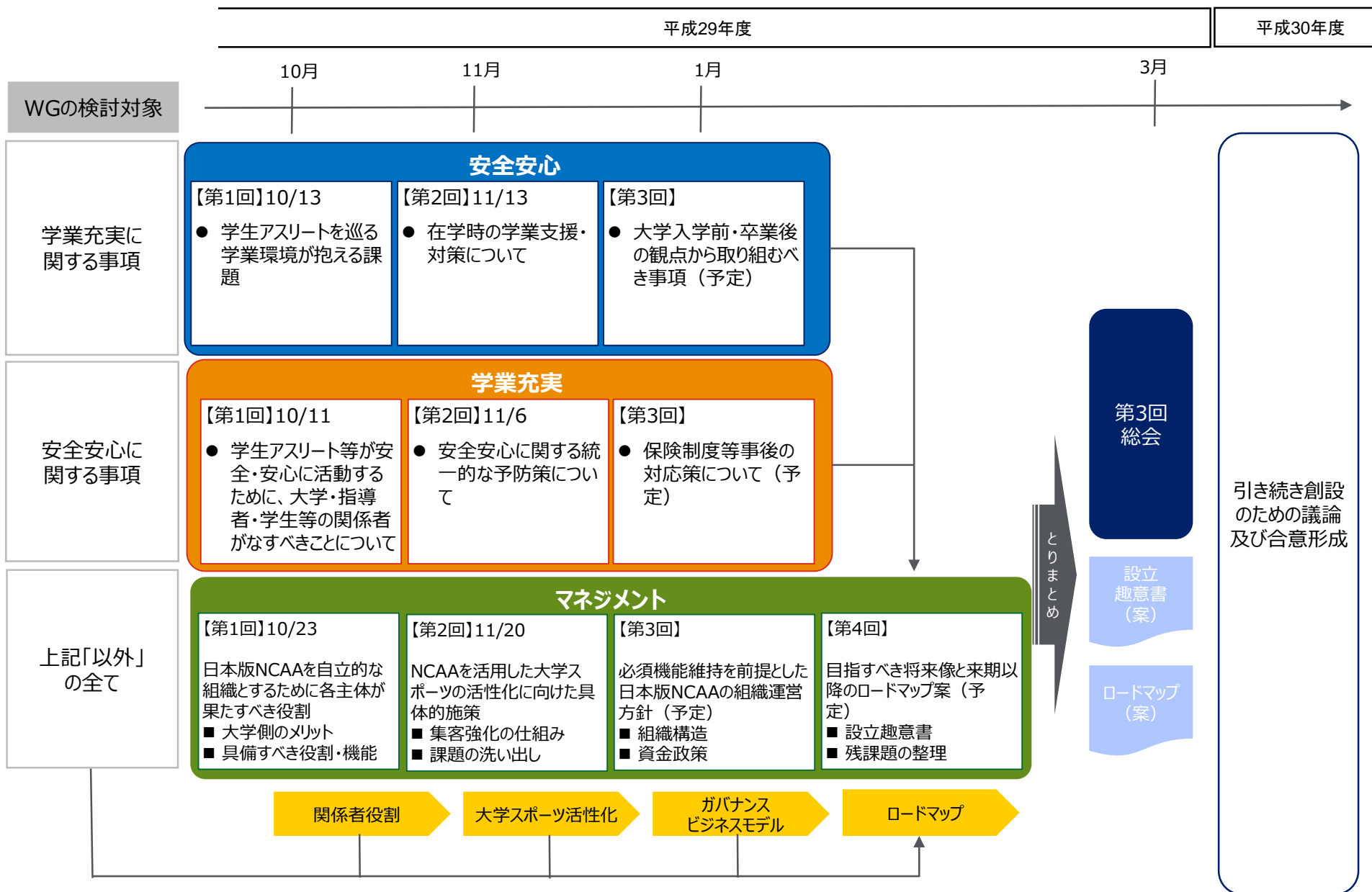
#### 【講演者】

- ・永田 恭介 (筑波大学学長)
- ・鎌田 薫 (早稲田大学総長)
- ・渡辺 夏彦 (一般社団法人ユニサカ代表理事)
- ・鶴岡 秀樹 (ミズノ株式会社常務執行役員)
- ・大知 久一 (三井住友海上火災保険株式会社取締役常務執行役員)
- ・鈴木 大地 (スポーツ庁長官)



第1回学産官連携協議会の開催  
(平成29年9月28日)

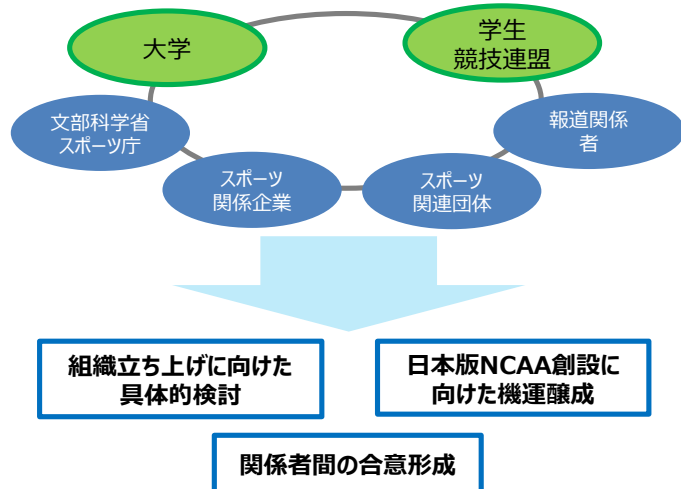
# 学産官連携協議会の今後の進め方



我が国の大学スポーツの持つ潜在力（人材輩出、経済活性化、地域貢献等）を生かすため、大学スポーツに係る体制の充実を図る必要がある。そのため、適切な組織運営管理や健全な大学スポーツビジネスの確立等をめざす大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA（National College Athletic Association））の創設に向けて、**日本版NCAAの創設に向けた検討を行うための学産官連携の協議会等を開催**するとともに、**大学スポーツの活性化に全学的体制で取り組む各大学における専門人材の配置や先進的モデル事業を拡充**する。

## ① 日本版NCAAの組織の充実

大学スポーツを全学的に推進する体制を整える大学や学生競技連盟を中核として、関係者による学産官連携協議会等を設置し、日本版NCAAの創設に向けた検討を行う。



## ② 大学スポーツ振興の推進

大学スポーツに関する全学的な体制整備を推進するため、「大学スポーツ・アドミニストレーター」の配置やスポーツ活動等を支援し、大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）の中核となる大学群の形成につなげる。

### 大学スポーツ・アドミニストレーターの配置

各大学において全学的にスポーツ分野の取組を一体的に行う部局を持つ大学に、大学スポーツのブランド力向上を担う大学スポーツ・アドミニストレーターを配置する。

**企画立案、コーディネート、資金調達を担う**

収益力の向上に向けた取組	学生アスリートのキャリア形成支援	大学スポーツを通じた地域貢献、地域活性化	スポーツ教育の推進	スポーツボランティアの普及啓発
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康・食・観光・ファッション等の多分野と融合したスポーツイベントの開催等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生アスリートへの学修支援やキャリア形成に配慮したプログラムの実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体や地元企業、スポーツ団体、地域住民等と連携した大学スポーツ施設の開放の在り方に関する連携体制の構築。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中高の体育活動や運動部活動を支援する学生の派遣やプログラムの開発等の支援体制の在り方の実践研究。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツボランティアの育成と普及啓発のための研修会の実施等。</li> </ul>

大学スポーツの活性化

大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）の創設